



International Cartographic Association
Association Cartographique Internationale

国際地図学協会

International Cartographic Association (ICA) 概要

日本学術会議

地図学と地理情報科学に関する 国際的な学術・専門組織

目的： 地図学および地理情報科学の学問領域と専門領域を国際的に振興し代表することによって、地図学および地理情報科学が社会と科学の利益のために最大限の効力と可能性を発揮できるようにする。

沿革：

1959 スイス・ベルンで設立
1961 第1回総会 於パリ，規約承認
原則として4年に1回の総会，
2年に1回の国際地図学会議を
世界各地で開催
2014 ICSU正式メンバー
2018 ISCに引き継がれ，ユニオン・アソシ
エーション・メンバー

主な活動：

総会（4年に1回）
国際地図学会議（2年に1回，研究発表・巡検・国際
地図展・国際子ども地図展など）
28の研究委員会と5の作業部会
出版（International Journal of Cartography，
Advances in Cartography and GIScience of
the International Cartographic Association など）
表彰

加盟： 73の国や地域



■ ICA加盟国

● ICC開催地

メンバーシップ：

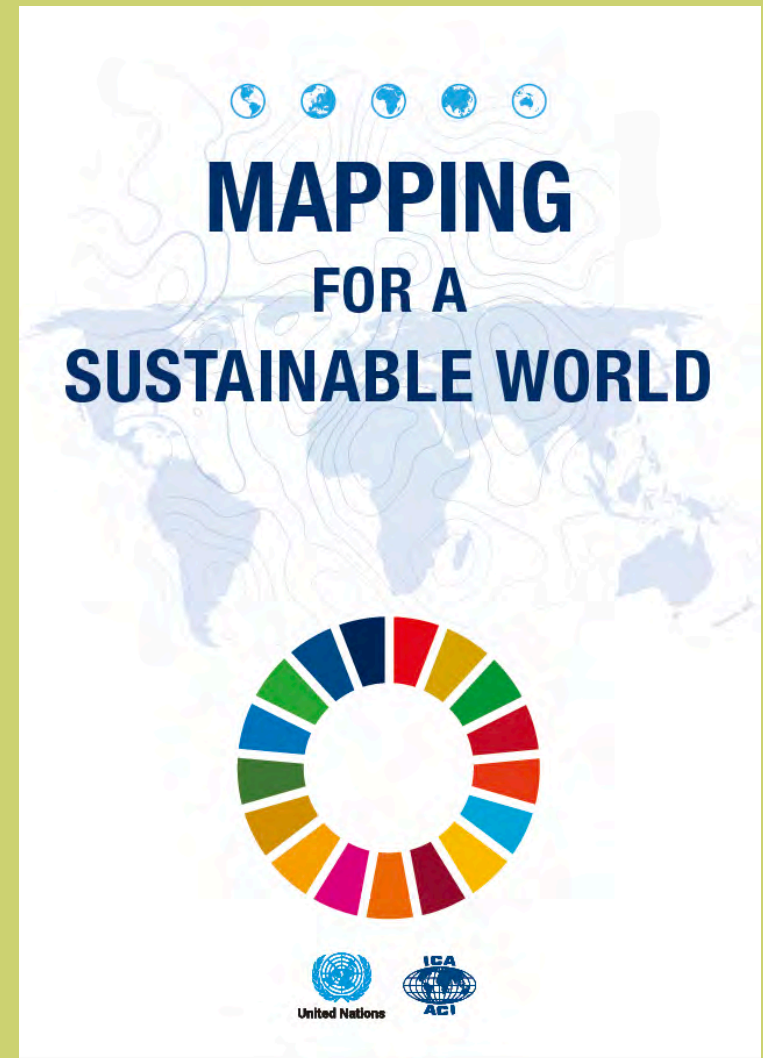


姉妹組織：



現代社会に不可欠な マッピング・リテラシーの向上を通して SDGsの達成に貢献

- 地図は現実と人間とのインターフェイスであり、理解をまとめ、意思決定をサポートし、人間の行動、思考、計画、空間理解の能力を拡張する。
- ICTの普及により人々が地図表現に触れる機会が飛躍的に増え、また空間的思考の重要性の高まりも伴い、地図は現代のコミュニケーションの重要な方法となっている。COVID-19パンデミックに際しても、地図による情報整理が有用であることが示されている。
- UN-GGIMに参加し、SDGsの達成に貢献する。SDGs達成のためには、政府や人々が課題を理解し進捗を確認する必要があるが、SDGsに関連する地理的データセットの可視化は、有効な方法のひとつである。そのために、2020年に、国連と国際地図学協会との連名で"Mapping for a Sustainable World"を刊行した。
- 地図学および地理情報科学は、文・理・芸術を横断・融合する総合的な学問である。2年に1回開催される国際地図展、国際子ども地図展は、一般社会や子どもたちが、情報の視覚表現の可能性と楽しさに触れる機会となっている。



ICAへの日本の貢献

- 日本のICAへの加盟は1961年（第1回総会）
- これまで執行部役員として、副会長3名、名誉会員5名、コミッション委員長6名、表彰委員会委員3名を送り込む
- 国際地図学会議ICCを東京において2度開催（1980年，2019年）

第29回国際地図学会議東京大会（ICC2019）

- 75の国・地域から約1000人が参加
- テーマは“Mapping Everything for Everyone”，研究発表約650件，基調講演4件等
- 国際地図展（30カ国から約400点）や国際子ども地図展（33カ国から約200点）などの一般公開プログラム
- 会期後は，地図資料を国内巡回展で展示，その後岐阜県立図書館に所蔵
- 若手研究者や途上国の研究者への支援
- 国内学協会との連携強化

ユビキタスマッピング研究委員会

ユビキタスマッピングの概念を理論地図学の分野に位置づけ，ICTを活用したコンテキスト・アウェア・マッピング技術やクラウドソース地理空間情報の理論と応用を評価する。

理論地図学分野のコミッションの展開

Year	ICA Commissions and Working Groups	Chair
1960-70	Working Group on Cartographic Information	A. Kolacny
1972-84	Commission on Communication in Cartography	L. Ratajski, C. Board
1984-87	Working Group on Concepts and Methodology in Cartography	U. Freitag
1987-91	Commission on Concepts in Cartography	T. Kanakubo
1987-91	Working Group on the Definition of Cartography	C. Board
1991-95	Working Group to Define the Main Theoretical Issues in Cartography	T. Kanakubo
1995-99	Commission on Theoretical Issues in Cartography	T. Kanakubo
1999-07	Commission on Theoretical Cartography	A. Wolodtschenko, Q. Du
2003-	Commission on Ubiquitous Mapping	T. Morita, M. Arikawa, Y. Wakabayashi

